



震災から10年 新たな困難へ立ち向かう決意

前橋令明 幹事長 阿部 忠幸

地震や津波、原発事故などの複合災害を招いた東日本大震災。震災後10年という節目を、私たちはコロナ禍という新たな危機のもとで迎えました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、私たちの日常生活は激変し、本市の各種事業も中止を余儀なくされました。そのような中、市民の皆様への命と暮らしを守ることを最優先に考え、感染拡大防止策はもとより、地域経済と生活支援策を切れ目なくスピード感を持って進めて参りました。

しかしながら、厳しい状況は続いており、市民や事業所の皆様にはコロナに打ち勝つ為に、「新しい生活様式」の実践と定着に取り組んでいただいております。

震災やコロナ以外にも、台風被害や熊本地震など、近年、深刻な災害が頻発しており、行政や市民にも「想定外」の危機に対応する「柔軟さ」が求められる時代になったと言えるでしょう。

そのような時代を鑑み、本市の総合計画をwithコロナや少子高齢化、デジタル社会の進展などを踏まえた内容に改訂し、「生きやすさ」、「前橋らしさ」を感じられるような施策を展開して参ります。

震災から10年。当時の悲しみ、再起への誓い、教訓を背負い、このコロナ禍において、立ち向かう決意を込めて会派を代表してのご挨拶と致します。



会報に寄せて

前橋市長 山本 龍

前橋令明の皆様には、日頃より市政各般にわたり格別なるご指導、ご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

現在、前橋市では新型コロナウイルス感染症の拡大やデジタル化の進展など、社会状況の変化を踏まえて改訂する「第七次総合計画」をはじめとした、各種計画を着実に推進するとともに、本市の将来都市像「新しい価値の創造都市・前橋」の実現に向け、様々な施策に挑戦しています。こうした中、自然、歴史文化や伝統を守りながら、ゆとりある質の高い生活や食文化、環境と調和した新たなまちづくりをめざす「スローシティ」と、デジタルテクノロジーで利便性の高い暮らしを実現する「スーパーシティ」を組み合わせた、他に例のない新しいまちづくりに特に力を入れています。

今後も、この「スローシティ」と「スーパーシティ」の取組を軸に、未来へ続く価値を創造するため、前橋令明の皆様と共に、引き続き、力を尽くしてまいります。

市民の皆様におかれましても、こうした本市のまちづくりに対しまして、引き続き格別なるご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和3年第1回定例会 代表質問概要

前橋令明 幹事長 阿部 忠幸

- 当初予算と財政運営について
- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 第七次前橋市総合計画について
- 教育、人づくりについて
- 結婚、出産、子育てについて
- 健康、福祉について
- 産業振興について
- シティプロモーションについて
- 都市基盤について
- 公営企業について

当初予算と財政運営について

コロナ禍において、社会環境の先行きの見通しが難しい中、大幅な税収減も予想されている。そんな中の予算編成、財政運営に関してどのようにお考えか。

⇒ (市長答弁) ワクチン接種をはじめとする感染症対策に積極的に取り組みつつ、教育環境の向上、デジタル化の推進など社会変化に対応し、将来を見据えた施策を推進していきたい。

新型コロナウイルス感染症対策について

各県に割り当てられるワクチンの量が非常に少ない中、どのような方針で接種していくのか。また、この感染症に大きく影響を受けている地域産業をどのように支えていくのか。

⇒ (市長答弁) 高齢者施設入所者及び施設従事者に対する巡回接種を優先的に行い、今後のワクチン供給量等を踏まえながら一般の高齢者接種開始時期を決定していきたい。

事業者支援については継続が重要と考えており、国や県の動きと連携しながら抜けの無い支援を展開したい。

シティプロモーションについて

デジタル最新技術と仕組みにより、市民の暮らしを豊かにするスーパーシティ構想へ向けた準備が進められている。今後どのようなビジョンを掲げ、どのようなまちを目指していくのか聞かせてほしい。

⇒ (市長答弁) デジタルの最新技術と規制緩和によって、様々な不便を解決することで、時間と心に「ゆとり」が生まれてくる。その「ゆとり」で前橋の豊かな自然、歴史、アートなどに触れ、学びの可能性を広げることにより、生き生きと楽しむ生活(スローシティ)を送ってほしい。

デジタル(スーパー)によって多様性(スロー)をデザインする『スーパーシティ×スローシティ』というコンセプトを実現していきたい。

所属議員紹介

QRコードから過去の議会録画をご覧ください。



幹事長
あべ ただゆき
阿部 忠幸

- 大胡地区
- 6期
- 市民経済常任委員会



3月9日に代表質問を行い、19日には市民経済常任委員会で質疑を行いました。以下、質問の抜粋です。

- 1.人権事業について
ぐんまパートナーシップ宣言制度への協力
- 2.地域振興事業・地域対策事業について
支支所管内の事業の取組
- 3.物産館運営補助事業について
物産振興として、売上向上
- 4.企業誘致促進事業について
企業立地の推進に向けた新たな取組
- 5.グリーンドーム前橋の施設整備事業について
ドーム内のエレベーター更新
- 6.農業集落排水事業について
取付管工事の今後の取組



副幹事長
すずき かずなり
鈴木 数成

- 総社・清里地区
- 3期
- 議会運営委員会 (委員長)
- 総務常任委員会



本年度は副幹事長として、阿部幹事長のもとで会派運営のサポートを全力で行ない、会派を盛りあげてまいります。

また議会運営委員長として、議会をスムーズに運営するために定例会の日程や本会議の進行手順、議会ルールについて話し合うための仕切り役を任せられました。

この3月は総務常任委員として7つの質問を行いました。

- ①本市の税金について
- ②群馬総社駅について
- ③自動運転バスについて
- ④マイタクについて
- ⑤未来型政策事業について
- ⑥ICTまちづくり推進事業について
- ⑦都市間連携事業について

この7項目について予算の組み方・使われ方をチェックし、本市の未来に繋がる質問をさせていただきました。これからの前橋を一緒に創っていきましょう。



政策審議会長
すが ひろし
須賀 博史

- 三中地区
- 3期
- 市民経済常任委員会



市議会議員選挙後、初めての議会が開催されました。コロナ禍となつての予算編成に苦慮しましたが、新しい生活様式の中であっても、生きやすさを感じられる前橋を創りあげていくためには、市民の負託を受けた私たち議員と市民と行政とが対話を積み重ね、市政を前に進めていくことが大切です。議員活動を通じて、地域の実情をよく把握し、真摯な議論が市民の福祉向上につながると考えております。

《今議会において以下のような質問をいたしました》

- ①温泉3施設について
- ②敷島浄水場について
- ③学校の改修事業について
- ④商店街について(現状と街路灯)
- ⑤動物愛護について
- ⑥敷島エリアグランドデザインについて
- ⑦パークPFIについて



政策審議副会長
とよしま たかお
豊島 孝男

- 宮城地区
- 2期
- 建設水道常任委員会 (副委員長)



安全で安心して生活できる魅力ある前橋市へ

全国的に少子高齢化が進展する中、本市も例外ではありません。市は10年後に目指す姿として、地域の魅力を創造・発信し、誰もが訪れ、住み続けたいまち、人口減少・少子高齢化社会に対応した都市基盤を推進し、将来にわたり安全で安心して暮らせるまちを目指し、推進計画を立て進んでいます。

この推進計画が順調に進めば、魅力ある前橋市が創出できると考えます。計画が本棚に置けなくなりぬよう目を光らせて見守ると共に、皆さんの代弁者として精一杯努力して参ります。

3月議会での質問と提案

- 消防団について
- 家畜導入事業について
- 宮城4号線について
- 粕川2号線について
- 放課後児童クラブについて
- みやぎ児童クラブについて

80、88、100歳支給の敬老祝金の内80、88歳を廃止する条例案について88、100歳を残す修正案を提出し、提案理由説明をしました。



政策審議副会長
おぶち かずあき
小淵 一明

- 桂萱地区
- 2期
- 総務常任常任委員会 (副委員長)



お世話になります。小淵かずあきです。新型コロナウイルス感染症が1日も早く終息し、普通の暮らしが戻ることを一番考えて活動してまいります。

令和3年3月議会より2期目がスタートしました。議会での質問概要をご紹介します。

嶺公園樹林墓地販売開始について

墓地継承が難しい遠方に住む方などに一度契約すれば20年間は埋葬し、その後は合同埋蔵施設に移して合葬する墓地の販売がスタートします。今年度は100程度販売、価格は1~2人用が23万円、3人用が35万円となります。

群大附中通り線について

危険な道路のため、質問の機会がある度に質問しております。令和2年度は道路上にある電柱を民地に移設し、通行しやすい道路へと変わりました。今年度より幸塚町信号の拡幅工事に伴う用地買収をスタートすることです。朝晩には小中学校の教員の方や、地元の自治会の方が子供たちの安心安全を見守るために道路に立って誘導していただいております。地域の協力に感謝します。



会員会長
よこやま かつひこ
横山 勝彦

- 南橋地区
- 8期
- 前橋市議会議長



市議会議員 初顔合わせ会 代表あいさつ (要旨)

私達38名は、この度の市議会議員選挙で市民の皆様からの信頼を受け、当選致しました。この選挙を通じて、福祉・教育・産業・生活環境などの要望、提言、意見を市民の皆様より頂きました。私達は、その負託に応えるべく、決意を新たにしている所であります。

中でも、現下の新型コロナウイルス感染症は、市民の暮らしに大きな影響を及ぼしており、皆様が安心して暮らさるよう、今後の対応の必要性を強く認識しております。

そして、議会は地方公共団体の意思決定機関として、重要な事項を決めなければなりません。私達議員は、執行機関に対し、監視機関としての議会機能を果たすため、正すべきところは正し、協力すべきところは協力をしながら、市民の幸福や市政発展のために議論して参ります。

これから4年間、議員としての責任を全力で果たす決意をお誓い申し上げ、あいさつと致します。



会員
なかばやし あきら
中林 章

- 下川淵上川淵地区
- 5期
- 教育福祉常任委員会



2月市議選で、市民の皆様より負託をいただき、5期目の市議会活動をスタートしております。

これまでの16年間、前橋市南部を中心に『住みやすさ日本一』を目指し、自治会と連携・協働して《街づくり》を推進してまいりました。

今年度は、前橋市監査委員として市全域に展開されている施策に対して、勉強させていただくことになりました。

将来、子供たちが「前橋市は、魅力ある都市だなあ」と思えるよう前向きな施策展開を提案してまいります。

引き続き、ご理解・ご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。



会員
すずき としじ
鈴木 俊司

- 富士見地区
- 4期
- 建設水道常任委員会



《令和3年第1回定例会総括質問要旨》

1. 新型コロナウイルスワクチンについて

- (1) 新型コロナウイルスの経過と状況
 - ①感染者の推移
 - ②PCR検査の実施基準
- (2) 組織機構改革
- (3) 県との連携
- (4) 新型コロナウイルスワクチン接種体制
 - ①接種の優先順位
 - ②本市の接種体制
- (5) ワクチン接種事業と課題



2. 公共交通について

- (1) 本市の公共交通の現状
- (2) AI配車タクシー
- (3) 課題

3. 情報教育推進事業について

- (1) GIGAスクール構想の実施
- (2) 課題

4. 福祉政策について

- (1) 各地区敬老会
- (2) 敬老祝い金

5. 地域の諸課題について

- (1) 市道22-8085号線
 - ①これまでの進捗状況
 - ②今後の取組

所属議員紹介

QRコードから過去の議会録画をご覧ください。



“美しい県都を守りたい”

3期目の前橋市議として、市民の皆様のために働くことが出来るチャンスを与えていただいたことに心から感謝申し上げます。

3月15日の本会議において、市民経済常任委員会に付託を受けた議案について、3月19日に委員会を開催し、審査を終了いたしましたので、その概要と結果について委員長報告をいたしました。

- 環境政策について ●有害鳥獣駆除対策事業について
- 地域振興事業と地域 対策事業について 等

質疑があり、議案採決されました。今後とも前橋市民の皆様のお役に立てよう頑張りたいと思います。

また、新型コロナウイルス感染防止対策についても県、国と連携を取り、施策を行います。



※安心安全な街づくりを推進します

会 員
あらい みか
新井 美加



- 元総社地区
- 3期
- 市民経済常任委員会 (委員長)



会 員
はやし こういち
林 幸一



- 南部・一中地区
- 2期
- 総務常任委員会 (委員長)

平成29年に市議会議員に就任して以来、前橋市民の幸せのため、住んでよかったと思えるまちをめざして、議員活動を行ってきました。今後も、4年間の実績と前橋市役所での経験とその人脈を生かし、地域の皆様のご要望、ご意見を迅速に市役所へ届け、その解決を図ってまいります。

3月17日に総務常任委員会で予算審査(写真左下)、3月26日に市議会本会議で委員長報告(写真右下)を行いました。



会 員
つみ はじめ
堤 波志芽



- 桃井・中央地区
- 2期
- 教育福祉常任委員会 (副委員長)

つつみはじめです。皆様のおかげで議員活動5年目を迎えることができました。コロナウイルスの感染者数は、以前に比べ落ち着いてきたものの、市民生活や事業者への影響は未だ続いております。令和3年度は、前橋市としてどのように取り組んでいくのか。質問・要望をいたしましたので報告させていただきます。

- ・今年の前橋祭り、花火大会等お祭りはどうなるのか
- ・新たな経済対策はキャッシュレスポイント還元事業
- ・今年のIT化推進補助金は5月から
- ・新たな困窮と虐待対策の提案、こども宅食
- ・前橋城の大手門石垣の保存に向けて
- ・民間開発による、変わる馬場川
- ・アクエル前橋に無料の学習スペース
- ・地元である県庁舎周辺の整備状況

委員会での質問要望内容

- ・生活困窮者支援の充実
- ・不妊治療への助成拡充
- ・小中学校及び保育施設の感染対策強化

(詳細は、ホームページをご覧ください)



会 員
こいわい りょうた
小岩井 僚太



- 南橋地区
- 2期
- 市民経済常任委員会

小岩井りょうたです。市民の皆様のご信頼と付託を頂き2期目の活動をさせて頂いております。

いよいよ、コロナワクチン接種が順次、開始されてまいります。一日でも早く日常を取り戻すために、市民の皆様にご協力いただきながら、粉砕砕身活動していく所存です。

そして、人口減少・人生100年時代の到来・テクノロジーの圧倒的進展を遂げる中、我が国日本、そして本市前橋市においても避けては通れない社会変化を、嘆きだけか、それとも改革のチャンスと捉え、街づくりをしていくのか。今まさに、転換期であることは間違いありません。

前橋市は、医療や交通、教育、行政手続きなど複数の分野で、AI(人工知能)などを活用したテクノロジーの社会実装をし、便利で暮らしやすいまちを実現していく【スーパーシティ構想】に挑戦しています。

地元南橋地区でも、新設道の駅や観音橋の建設等、様々なプロジェクトが進んでおります。

不易流行で、できること、やるべきことを確実に頑張っており、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



会 員
いちむら ただみつ
市村 均光



- 城南地区
- 1期
- 教育福祉常任委員会

市村ただみつと申します。

市役所職員として10年間、教育NPO法人の代表者として5年間。この2つの経験を生かし、よりよい地域づくりそして子どもたちのときめく社会をつくるために動きます。皆様のご期待に添えるよう真っ直ぐに進んでいきます。

初めての前橋市議会3月定例会では、以下の内容について総括質問をいたしました。

- ・不登校の支援の状況について(民間団体との連携)
- ・孤独、孤立対策について(高齢者の見守り)
- ・ふるさと納税について(タイガーマスク運動)
- ・生活困窮者自立支援事業について(Mチェンジ)
- ・前橋総合運動公園整備状況について(進捗および課題)



会 員
さとう しょうへい
佐藤 祥平



- 上川淵・五中地区
- 1期
- 建設水道常任委員会

佐藤しょうへいです。皆様のご信頼を受け、新たに前橋市議会議員として働かせていただきます。

《令和3年3月議会にて委員会質問をしました》

- 江田・天川大島線 ●西善・中内地区計画条例 ●水質浄化センターの更新 ●下水道整備など計7項目について質問を致しました。

新型コロナウイルスへの対策、産業振興、子育て支援など市民生活に直結する課題にもしっかりと向き合っていきます。

《多様性を理解し、互いに支えあう前橋へ》

皆様のご幸せのため、前橋市が明るい未来に向かってさらなる一歩を踏み出せるよう働きます。前橋市に暮らすさまざまな人たちがお互いに認め合い、共に生きていける社会を目指す中で、私の経験がきっと役に立つと信じて頑張ります。一層のご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。



敷島浄水場に新たな配水塔が完成しました

旧配水塔は、昭和4年(1929年)に建てられ、昭和60年(1986年)に厚生省から「全国近代水道百選」の指定を受け、さらに平成8年(1996年)には、水道資料館と配水塔が、国登録有形文化財に登録をされました。

市民に【水道タンク】として親しまれてきましたが、老朽化のため令和元年(2019年)から新配水塔の建設を開始し、令和3年(2021年)2月18日から利用を開始しております。(ステンレス製配水塔としては、日本で3番目の高さ)

耐久性の高いステンレス材を使用しており、地震等で水道管が破壊され給水が停止した場合でも、応急配水が可能となっております。

これにより、市民の皆様のご暮らしを支える給水が安定的にできるようになります。



旧配水塔